

自然体験

第13回

10日間

島のまわりは・・・海！海！海！の無人島でキャンプ

# フィジー無人島で基地づくり & のんびり村のホームステイ



プログラム参加費

258,000円

旅行代金

182,000円

期間

平成30年7月27日(金)  
～8月5日(日)

対象・定員

\* 出発前日が事前研修会です。  
小学3年生～高校3年生  
20名(最少催行8名)

研修地

フィジー共和国

協力

ラウキ村、VUDA  
DISTRICT小学校

利用航空会社

フィジー・エアウェイズ  
(直行便)

\*プログラム参加費・旅行代金の詳細は『事業概要』をご参照下さい。

## 現地情報

- ◆気候 乾期で最も雨が少なく、過ごしやすい季節です
- ◆気温 最高気温26℃ 最低気温20℃(7・8月)
- ◆時差 日本より3時間進んでいます
- ◆通貨 フィジードル
- ◆概要 330の島々から出来ており、白砂のビーチや透き通るサンゴの海が魅力です
- ◆食事 1日3食(キャンプ中は野外炊飯)
- ◆通学 貸切バス

## 特色

- ◆ホストファミリーは原則1家庭2名(全人数が奇数のグループは1家庭3名の家庭もあります)
- ◆無人島でかまど作りやテントを立てて、日の出から日の入りに合わせて生活します。生活の工夫を学ぶ機会です
- ◆村の家は、大きな庭を囲むように家が建っており、ホームステイの家同士は徒歩圏内です
- ◆フィジアンの特長な季節に食べる『ロボ料理』体験
- ◆通年を通じた交流開始から13年目になります

## プログラム

- 7/26(木) 夕方 事前研修会
- 7/27(金) 夜 成田空港発
- 7/28(土) 朝 ナンディ空港到着  
午前 キャンプ用品の買い出し  
午後 プールで泳力チェック(ホテル泊)
- 7/29(日) ホストファミリーとマッチング  
ホストファミリーと過ごす(ホームステイ)
- 7/30(月) 日中 小学校訪問・交流(ホームステイ)
- 7/31(火) 村から無人島へ移動  
テント設営・かまど作り  
無人島生活開始 (キャンプ)
- 8/1(水) カヤッキング・シュノーケリング・釣り・海水浴など(キャンプ)
- 8/3(金) 無人島から村へ移動  
ホストファミリーと過ごす(ホームステイ)
- 8/4(土) 朝 ホストファミリーとお別れ  
日中 ナンディタウンでショッピング  
夕方 ホテルチェックイン
- 8/5(日) 午前 ホテルチェックアウト  
午後 ナンディ空港出発  
夜 成田空港着、通関後解散

\*天候によりスケジュールが変更になる可能性もあります。



## 体験談

福岡県 小6 女子

フィジーの人に会って思った事は、親切で力持ちだと思いました。教えてもらった言葉は、「ブラ」、「ミナカ」、「カナミナカ」、「センガミナカ」です。「ブラ」はあいさつ、「ミナカ」はありがとう、「カナミナカ」はおいしい、「センガミナカ」はいりませんです。フィジー語はよく分からなかったけど、この4つの単語と英語を使って会話が出来て嬉しかったです。フィジーの人は知らない人でも笑いながら「ブラ」と言ってくれます。だから私も「ブラ」とあいさつしました。村へ行って歓迎の儀式がありました。これで村の一員として認められたので良かったです。料理上手なお母さんだったので、ご飯もおいしく、にぎやかでした。家族の人と会話する時は、簡単な英語で話してくれたので会話することが出来ました。相手に自分の言っている事が通じて嬉しかったです。私達はこのホストファミリーで良かったなと思いました。無人島は1周5分もかからない位のすごく小さな島でしたが、海はとてもきれいで、透き通っていました。シュノーケリングをした時もたくさん色とりどりの魚やイソギンチャク、大きなサンゴが見え、海の中もとてもきれいでした。無人島で一番大変だったのは料理です。家みたいに誰も作ってくれないので、自分達で作るしかありません。最初は失敗でした。ご飯は固く、みんなの息も合いませんでした。でも失敗したのは1回だけで、後は全部ちゃんと出来ました。でも、苦労して作ったご飯はおいしかったです。今回良かった事はみんなと仲良くなれた事と、無人島でキャンプした事と、フィジーの人達と英語で会話出来た事です。最後にお世話になったフィジーのみなさん、一緒に参加したみんなありがとう。